

平成 29 年 5 月 10 日

各 位

会社名 大末建設株式会社
代表者名 代表取締役社長 日高 光彰
(コード番号 1814 東証1部)
問合せ先 執行役員経営企画部長 石丸 将仁
(電話番号 06-6121-7127)

新中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、平成 29 年度から 31 年度までの 3 か年を対象とする新中期経営計画『DAISUÉ SINKA 2020 (DS2020)』を策定しましたのでお知らせいたします。

平成 28 年度を最終年度とする『ACHIEVE DAISUÉ 80th』の達成に向けて取り組んでまいりましたが、目標とする利益額、自己資本額を超過達成し、早期の復配実施とともに創業 80 周年記念配当も実現して終了することができました。

今回策定した新中期経営計画では、『更なる経営基盤の強化による信頼確立』を全社方針とし、マンション事業で安定的な収益を確保しながら、建設・リニューアル事業をより強固なものとすることによって、新たな数値目標、営業利益額 30 億円・営業利益率 5%・自己資本額 170 億円・自己資本比率 40%以上を目指すものです。

また、お客様の満足を実現するために、協力会社、株主、地域社会等の皆さまと共生し、社員と家族が安心できる、誇りとやりがいをもって働ける組織を目指してまいります。

全社一丸となって本計画に取り組んでまいりますので、今後とも一層のご支援、ご理解を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

以 上

新中期経営計画
DAISUÉ SINKA 2020 (DS 2020)
(平成29～31年度)

平成29年5月10日



大末建設株式会社

平成29年3月1日をもって、大末建設は80周年を迎えました。また、中期経営計画「ACHIEVE DAISUÉ 80th」は、目標としたすべての数値目標の達成と復配を実現して終わることができました。皆さまのご支援、ご指導に心より感謝申し上げます。

今回策定した新中期経営計画「DAISUÉ SINKA 2020」では、マンション事業で引き続き安定的な収益を確保しながら、建設・リニューアル事業をより強固なものとしていくことを方針として掲げております。また、お客様の満足を実現するために、協力会社、株主、地域社会等の皆様と共生し、社員と家族が安心できる、誇りとやりがいをもって働ける組織を目指します。

名称としましたSINKAとは、「進化」「深化」「真価」の3つのSINKAであり、新中期経営計画が完了する2020年3月に向かって、お客様との関係、品質・技術・サービス等を進化・深化させ、真の価値(真価)を創造して成長していく意味を込めています。

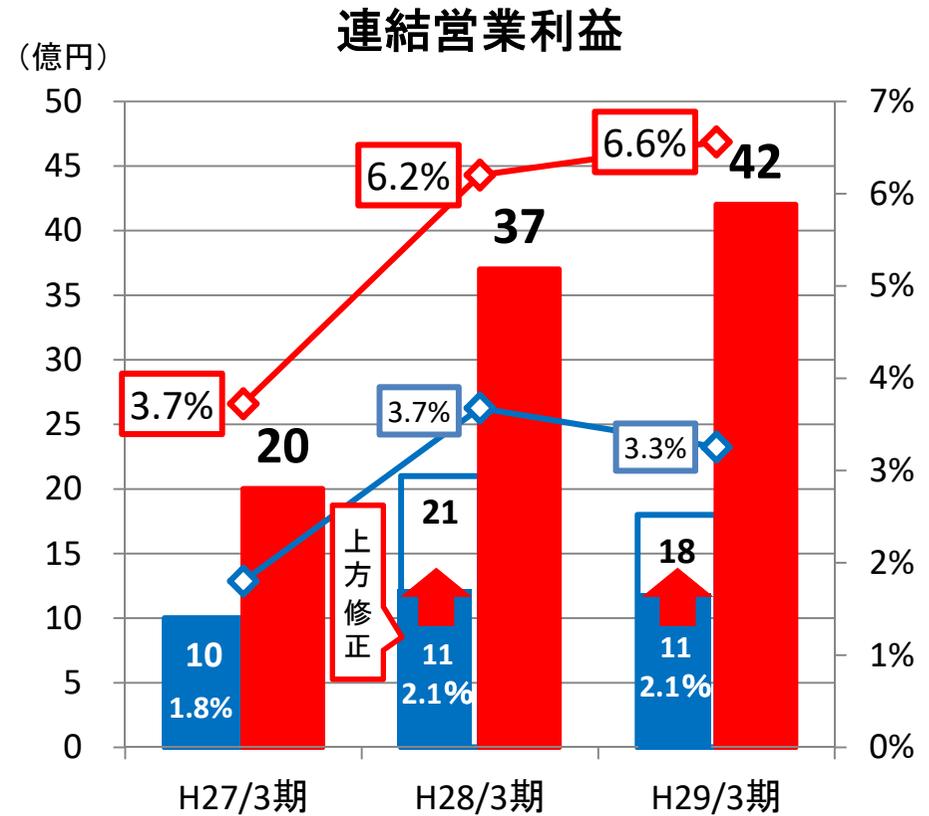
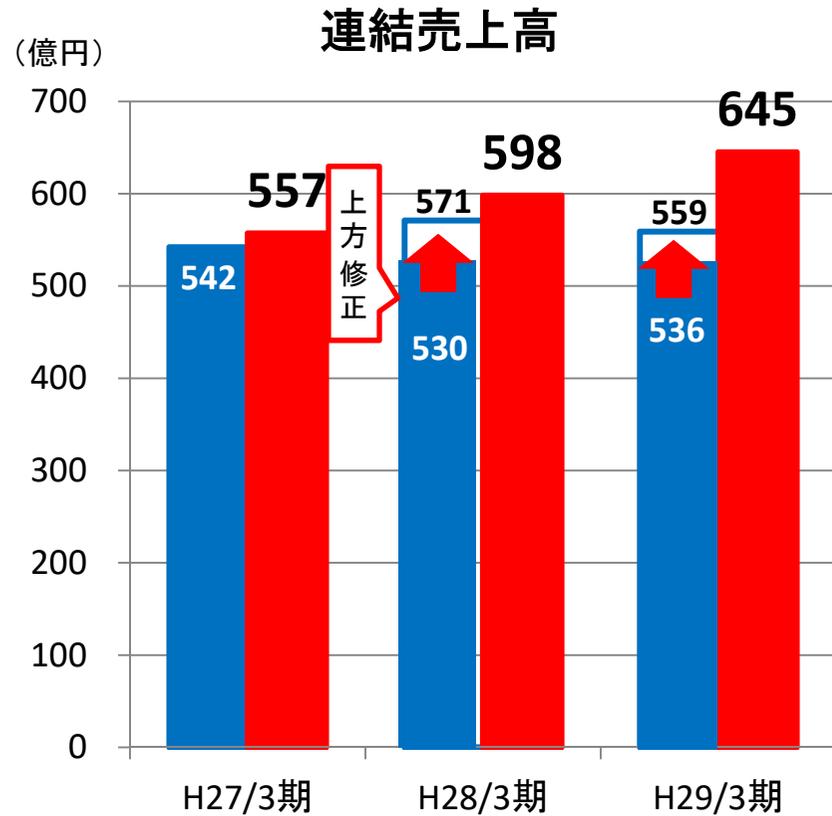
今後とも一層のご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

前中期経営計画「ACHIEVE DAISUÉ 80th」実績



建設事業が牽引

適切な工事利益を確保

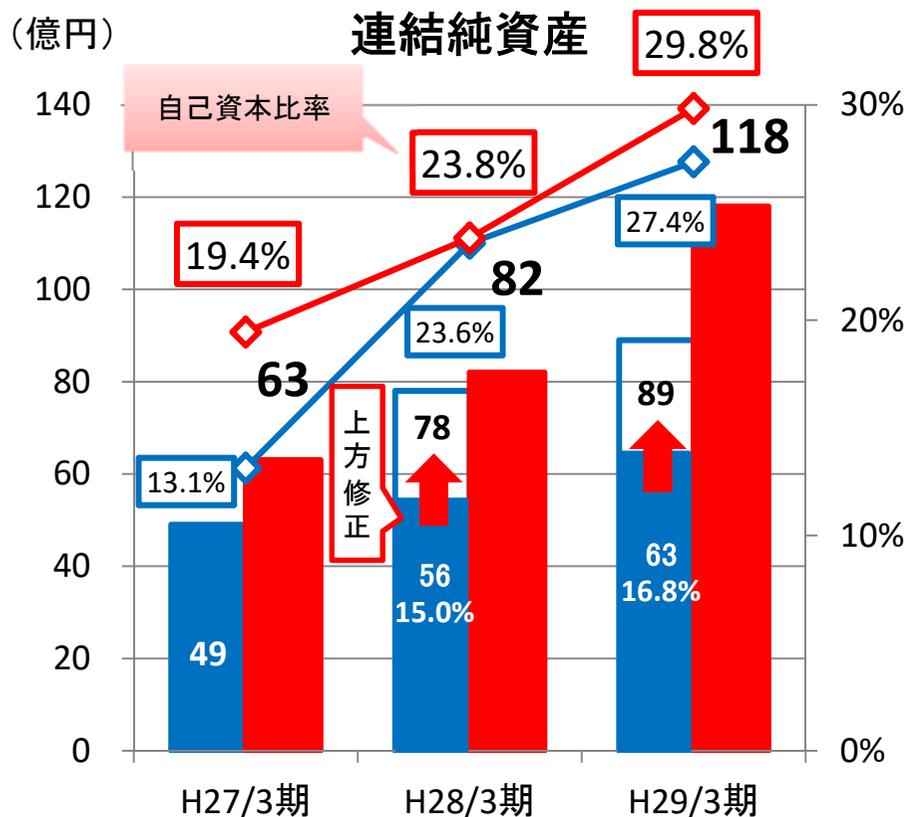


前中期経営計画「ACHIEVE DAISUÉ 80th」実績



100億円を突破

復配・増配実現



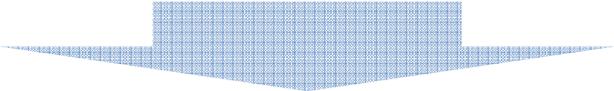
配当実施額 (円)

	H27/3期	H28/3期	H29/3期
期中配当	-	-	(記念配当) 10
期末配当	5	10	10
合計	5	10	20

■計画値 ■実績

当社を取り巻く環境分析

- ・全国人口が減少する中、首都圏は2020年まで人口が増加。
- ・世帯数は近畿圏では2025年、首都圏では2030年にピーク。
- ・ワールドカップやオリンピック関係、インバウンド関係、オフィスや工場、住居系等への建設投資は、首都圏、都市部に集中して相応に発生。
- ・長期的には、住宅分野では世帯人口の減少を背景に新設が減少。非住宅分野では、店舗の減少があるものの、オフィス・倉庫等の床面積の増加と、維持・補修の増加が寄与し建設投資額は堅く推移。



事業方針への反映

中期的には、前中期経営計画期間中に発揮できた強みを継続させ、課題の改善を図ることで、お客様のご期待に応え、安定した売上・利益の確保を目指す。

長期的には、住宅分野の新設減少等、環境変化に向けた備えを行っていく。

新中期経営計画の位置付け

『強固な経営基盤をもった永続的な企業』となるための
基盤固めと持続的成長に向けた活動を進化させる期間

←——— ACHIEVE DAISUÉ 80th ———>> ←——— DAISUÉ SINKA 2020 ———>
(H26年度～H28年度) (H29年度～H31年度)

創業80周年
H29/3

外部環境に左右されない
安定的な
経営基盤の構築

目指す姿
「安心」「自立」

更なる経営基盤の強化による
信頼確立
持続的成長に向けた種蒔き

『大末ブランドの確立』

目指す姿
「信頼」「成長」

新中期経営計画の方針



全社方針 更なる経営基盤の強化による信頼確立
持続的成長に向けた種蒔き

<マンション事業>

品質の継続的な向上、施工対応力の強化等の取り組みを通じ、多くのお客様との『安定的な取引関係を堅持』します

<建設事業>

お客様層の拡大に向けた取組と、施工経験の増加で得た知見の活用によって『さらに安定的な受注体制の構築』を目指します

<リニューアル事業>

新築需要の減退に備えるべく、リノベーション等への取組、施工協力体制整備等、『売上高の2割を担える事業基盤作り』を進めます

事業基盤方針

- 人材マネジメント改善 社員の成長・育成の仕組みの改善、社員のモチベーション向上
- 品質向上の取組強化 品質基準書類の整備と浸透の為の教育、竣工後の対応力等の強化
- 技術向上の取組強化 施工能力・品質の向上、工期短縮・業務改善等を目的に開発・展開
- グループ組織の見直し マーケット、成長の為の取組強化に適った配置にグループを再編
- 生産性向上の進化 ITを活用した生産性向上、継続的な改善活動、PTによる課題対応等

方針実現のための推進体制

1. PDCAマネジメント

- ・よりよい仕事の仕方を考える契機となるPDCAマネジメントを継続
- ・目標達成の為、施策の目指す姿、担い手、スケジュールを明確化

2. プロジェクト推進メンバー

- ・諸施策、委員会活動の進捗を確認し、全社活動の達成を牽引

3. 委員会活動

- ・各種課題に所属部署にとらわれない自由な発想で取り組む組織を改編し再スタート

名称	役割
人事検討委員会	モチベーションの更なる向上に向けた取り組み。時短・作業所土曜休暇の実現検討等
CI活動推進委員会	コーポレートアイデンティティの活動推進。大末ブランド浸透の検討等
品質管理委員会【新設】	お客様毎の施工上のポイント集や標準仕様書の整備、外勤者教育等を通じ、施工に起因する瑕疵低減に向けた取組を継続的に実施
生産性向上委員会【新設】	生産性向上の数値目標明確化と生産性推移検証。各種の効率化策の施策を検討
商品開発プロジェクト【新設】	お客様ニーズに合うサービス、技術提案等の検討・開発。仕入を含めた競争力強化策検討

皆さまの期待に応える作品を提供する会社 ～「大」きな安心「末」ながく～



私たちは、役職員一人ひとりが共有すべき5つの価値観をもち、グループ一丸となって大末ブランドの確立に向けて行動することで、皆さまから信頼され、社員と家族が安心できる、誇りとやりがいをもって働くことができる永続的な企業を目指します。

安心

私たちは、お客様に高品質で安全な建物をご提供し、永きにわたる安心をお約束します。

信頼

私たちは、コンプライアンスを遵守することはもちろん、常に誠実であることを旨とし、皆さまからの信頼を築きあげます。

成長

私たちは、持続的な成長と企業価値の向上を目指して、あくなき挑戦を続けます。

尊重

私たちは、一人ひとりが互いを尊重し、誇りとやりがいをもって安心して働くことができる職場環境をつくります。

環境

私たちは、事業活動を通じて、地球環境に配慮した豊かな社会の実現に貢献します。

新中期経営計画 連結計数目標



重点目標

営業利益額・率の確保

営業利益額: 30億円以上

営業利益率: 5%以上

純資産額の積上げと率の改善

純資産額: 170億円以上

自己資本比率: 40%以上

財務面の信頼を確立

安定的な配当を継続

(ご参考) 中小ゼネコン自己資本比率平均値

H28/3期 41.7%

H29/3期3Q 43.5%

(単位: 億円)	H29/3	H30/3	H31/3	H32/3
	実績	計画	計画	計画
売上高	645	584	654	644
売上総利益	70	57	64	64
営業利益	42	30	36	36
営業利益率	6.6%	5.1%	5.6%	5.7%
経常利益	41	30	36	36
当期純利益	35	19	23	23
個別受注高	584	649	611	650
有利子負債	55	59	38	14
純資産	118	136	158	179
自己資本比率	29.8%	33.5%	36.8%	42.6%
総資産	398	407	429	421